

教科	課題（現状、傾向、課題分析）	改善プラン（改善のための具体策や取組）	成果(○)と課題(△)
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えたいことを順序立て、また言葉遣いに気を付けて話すことに課題がある。思ったことをすぐに話そうとする。</li> <li>・一斉指導した後に、同じことを質問したり、発言したりすることが多い。</li> <li>・想像を広げて読み、物語の登場人物の気持ちや言葉を考えることが苦手な児童がいる。</li> <li>・助詞の使い方や拗長音などの表記の習熟が十分でない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し方、聞き方のルールを繰り返し確認し、意識を促す。日直のスピーチや授業の中で、皆に向かって話したり、質問したりする場を多く設ける。</li> <li>・見通しをもって学習できるように、黒板に順序を示す。</li> <li>・絵や写真、実物を見せたり、動作化を取り入れたりして、イメージを膨らませやすくする。自分で考えたあと、2人組で互いの考えを交流する場を設け、考えを広げる。</li> <li>・けやきタイムや家庭学習で繰り返し取り組ませ、習熟を図る。</li> </ul>	
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計算はできるが、問題文を読み、式に表すことが苦手である。</li> <li>・自分の考えを広げたり、深めたりすることができない。</li> <li>・集合数と順序数の違い、時刻の読み方についての理解が十分でない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体物や半具体物を使った操作活動を多く取り入れ、加法や減法の意味理解や計算方法の理解につなげる。</li> <li>・自分で考える時間の後、2人組での対話の場面を設定し、自分の考えと比べて「同じ考え」「違う考え」など聴く視点を意識できるようにする。</li> <li>・ICT機器を効果的に活用し、確実な理解を図るとともに、授業以外の場面でも、集合数や順序数の違いを体感できるような活動や、時刻を読む活動を取り入れ、意識を促す。</li> </ul>	
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分中心に考えることがまだ多く、人との関わりが薄いため、関わりを多くもたせる必要がある。</li> <li>・季節の変化の中で、諸感覚を使って感じたり、物事を比較したりしながらの気づきが少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達や他学年、教職員、地域の方との関わり合う機会を増やす。体験活動を積極的に取り入れる。活動後に振り返りの時間を設け、互いのよさに気付くことができるようにする。</li> <li>・諸感覚をはたらかせた学習をするために、活動の前にねらいを確認し、目的意識をもたせる。友達のよい気づきを紹介したり、教師が価値付けたりする。</li> </ul>	
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・素早く集合・整列したり、きまりを守って安全に活動したり、集団に合わせて行動しようとする意識が低い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の前にきまりを確認し、どの学習においてもきまりを守って楽しく活動できるようにする。</li> </ul>	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の体をうまく操作できない児童がいる。</li> <li>・ボールを操作する感覚が、まだ十分に身に付いていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な動きを体験させ、児童同士がよさを見付けたりアドバイスし合ったりする場面を設ける。</li> <li>・指示を明確にし、ボールを操作する時間を多くとる。児童同士がアドバイスし合ったり、作戦を立てたりして運動を楽しめる場の設定を工夫する。</li> </ul>	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元気に歌ったり友達と仲良く手遊びをしたり、楽しく活動をしている。</li> <li>・わらべうたでは、ペアで協力して交流することができる。</li> <li>・ひらがなを読むスピード遅かったり、器楽では、指がうまく動かせなかったりする児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旋律に合わせて言葉がついていけない児童のために、デジタル教科書を用いてテンポをおそくして練習をしたり、拡大文字のプリントを用意したり、教材を工夫する。</li> <li>・けんばんの学習では指を丸くする、音譜通りに演奏する、運指を考えて演奏するなど、個々にあったレベルを設定する。</li> </ul>	
図画 工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つくる方法や順番が分からない。</li> <li>・自分の活動に自信がもてない。</li> <li>・身近な自然や人工物を基に思い付いてつくる体験が少ない。</li> <li>・発想が豊かに様々なものをつくることができず、型にはまってしまう児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作例や見本を示し、活動の見通しをもち、自分のイメージを広げる。</li> <li>・自分のイメージをもつための十分な時間を保障する。</li> <li>・体全体をつかいながら材料とかかわる題材を設定する。</li> <li>・デモンストレーションを何人かの児童にやってもらい、いろいろな方法があることを実感させる。</li> </ul>	